

## モリアザミ

*Cirsium dipsacolepis*  
(Maxim.) Matsumuraキク科  
Compositae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 掲載なし

選定理由	県内での生育地は限られていて狭い。しばしば群生して個体数はかなりみられる。植林や野焼きの停止による環境変化や人工牧野に改変されて、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	九重火山群，由布・鶴見火山群
分布域	本州 四国 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎)
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現 状	人工牧野に改変されて消滅した生育地がある。
備 考	基準標本産地〔久住山〕 本県では、これまで人による根茎の採取はみられない。

## ウラジロヤナギアザミ

*Cirsium lineare* (Thunb.) Sch.-Bip.  
var. *discolor* Nakaiキク科  
Compositae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 掲載なし

選定理由	本県では生育地が限定され、個体数も少ない。草地開発や土地造成などで生育環境が改変され、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	耶馬溪地区，日田低地・丘陵地，津江山地，由布・鶴見火山群，豊後水道後背地域，石灰岩地域，大野川上流域
分布域	九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)
生育環境	丘陵地の草原や湿原。
現 状	草原や湿原の改変によって、消滅したり、個体数の減少した生育地がある。

## サツマアザミ

*Cirsium sieboldii* Miq.  
subsp. *austrokiushianum* (Kitamura) Kitamuraキク科  
Compositae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 II

選定理由	本県生育地は火山地域の湿地に集中し、少ない。しばしば群生する。湿地開発や周辺地の土地改変で生育地の消滅が懸念される。
県内分布	玖珠丘陵地・山地，九重火山群
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現 状	生育地の周辺が開発されて、生育状態の衰退した所がある。
備 考	マアザミ( <i>C. sieboldii</i> )より葉の棘が多く、花茎に1～3個の苞がつき、頭花も多くて大きい。